

地域貢献

当行は、創業のころ“親切で新しい”を大切に、「地域の発展」や「皆さまの暮らし」のお役に立ちたいと、いろいろな施策に取り組んでおります。

第9回〈池銀〉ニュービジネス助成金 “地域起こし大賞”など決定

新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業や起業家を応援する「〈池銀〉ニュービジネス助成金」。平成15年の創設以来、応募累計は878件にもものぼりました。当助成金制度が、京阪神の企業や起業家に広く認知され、地域起こし策の一環として根づいてきていると感じております。

9回目となる今回も、IT・情報通信、ナノテク・製造技術、エコ・環境・バイオ、医療・福祉などの幅広い分野から156プランの応募があり、産学官連携による「ニュービジネス目利き委員会」により審査が行われました。

その結果、“地域起こし大賞(300万円)”1プラン、“優秀賞(100万円)”3プラン、“奨励賞(50万円)”8プランが選出され、平成20年10月16日“マイドームおおさか”での「第9回〈池田銀行〉TOYROビジネスマッチングフェア2008」の会場において、授賞式を執り行いました。

これにより、今回までの表彰プランの総数は92件、助成金の総額は6,000万円を超える規模になりました。

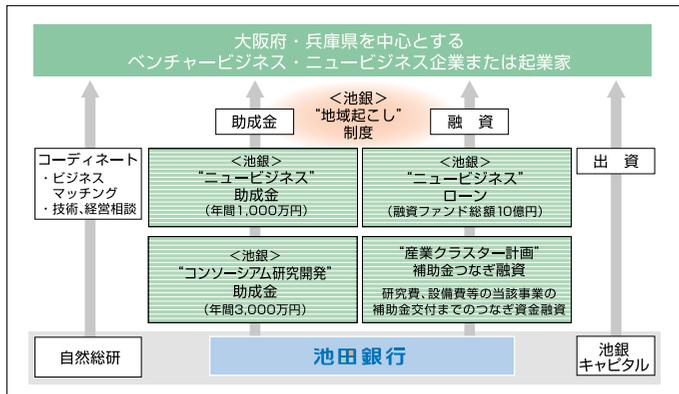
「コンソーシアム研究開発助成金」 第5回平成20年度分応募受付中!

「〈池銀〉コンソーシアム研究開発助成金」は、産学連携により早期に商品化・事業化を目指す技術シーズや、産学連携による開発構想を持つ企業・事業者から、大学・公設研究機関等との共同研究・委託研究等のプランを公募し、助成金を贈呈するものです。年1回の公募により、年間15~20プランに1件あたり最高300万円、総額3,000万円程度を支給いたします。

過去4回の応募状況は、応募総数181件、採択プラン数56件で、支給決定額は1億2,000万円以上となります。連携機関数は、全国55の大学・高専、14の公設研究機関等で、延べ69機関にのぼります。応募プランの分野は、IT・情報通信、環境・エネルギー、バイオ、ものづくり等多岐にわたり、応募企業の種別も、大学発ベンチャーはもとより、地場中小企業、上場企業に至るまで様々な皆様よりご応募いただいております。

5回目となる平成20年度分は、12月22日までご応募を受付、採択プランの決定は平成21年4月の予定です。

池田銀行グループの「ニュービジネス総合応援制度」の概要



地域経済の活性化を目指す 「ビジネスマッチングフェア」も9回目

平成20年10月16日・17日の両日、“マイドームおおさか”において「第9回〈池田銀行〉TOYROビジネスマッチングフェア2008」を開催しました。

今回は、『日本のちから、関西の技術』をメインテーマに、地域起こしの原動力となる企業と近畿経済産業局などの公的機関、最先端の技術・知見を誇る大学、研究機関に出展いただきました。中小企業

の高度な「ものづくり技術」は、産業の基盤を支える重要な役割を果たしています。特に関西には、川上から川下まで、国内、世界のトップレベルの多くの技術が存在しており、これら関西の『匠』が一堂に会しました。

さらに、前回の特別展示「池田発3大発明」に続き、今回は独立行政法人産業技術総合研究所関西センター（産総研）のご協力により、メインテーマを象徴する『産総研 関西発3大発明』を特別展示。わが国のみならず世界に新市場を創造し、産業界に大きなインパクトをもたらした関西生まれの基盤技術を、ご紹介いただきました。

これからも、地元企業の皆さまのお役に立てますよう、コーディネーターとして、“ベストマッチング”を目指して努力してまいります。



「ベンチャー2008KANSAI」に協賛 〈池銀〉エンカレッジフォーラム開催!

当行は、地元関西の“仕事の創造”と“対外競争力の向上”をめざし、「ビジネスマッチングフェア」の開催や「地域起こし制度」を創造する等、研究開発型事業やニュービジネスを応援しております。その一環として、新しい企業・産業の創出を通じた関西経済の活力回復、アジア諸国・地域との経済交流の促進を目的に開催されている



“ベンチャーKANSAI”に平成15年から毎年協賛、平成20年も11月に「〈池銀〉エンカレッジフォーラム～地域起こし～」を開催しました。

第1部は、奥野史子氏（スポーツコメンテーター）をゲストに迎えての『“昇華・夜叉の舞”発想の転換からの勝利』と題したトークショー。第2部は野口悠紀雄氏（早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授）に『日本の経済のゆくえ』と題して講演をお願いしました。

これからも、地域における中小企業・ベンチャー企業を応援するイベントなどに積極的に参加してまいります。

